

国語科 小学校 4年

単元の流れ（全12時間）

【第1次】＜新聞記事の特徴について考え、めあてをもって取材する。＞

- 第1時 教科書の「新聞の例」をもとに新聞の特徴について考え、学習計画を立てる。
第2時 1・2学期の出来事をふりかえって、新聞に書きたいことをワークシートに書く。

「活用」の力育成のために
（ポイント）

【第2次】＜記事本文を書く＞

- 第3時 ワークシートにまとめたことをもとに新聞で伝えたいことを選び、各記事の構成メモを作る。
第4時 構成メモをもとに、中心になる記事の下書きを書く。
第5時 よりよい表現に書き直す（推敲する）ための方法を考える。（本時）
第6時 書き上げた文を読み直し（誤字脱字・段落分け・付け加えなど）読み手に分かりやすい文にする。
第7時 推敲した文を清書する。
第8・9時
2番目に伝えたいことを囲み記事に書く。
囲み記事を推敲して清書する。

「活用」の力育成のために
（ポイント）

【第3次】＜記事を組合わせて紙面を作る＞

- 第10・11時
新聞の形式に合わせ、題字や見出し、リード文・本文等の配置を考え、新聞を完成する。

【第4次】＜学習成果を交流する＞

- 第12時
できあがった新聞を読み合い、友達の新聞の良いところを見つけ、自分の感想を書く。
自分の感想を基に、手紙形式で友達の新聞の良いところを伝える。
新聞づくりで参考にした
い点をまとめる。

「活用」の力育成のために
（ポイント）

「活用」の力育成のために
（ポイント）

単元名 取材したことをもとに学級新聞を作ろう
「みんなで新聞を作ろう」
東京書籍「新しい国語四下」

単元目標

書くことの内容を明確にし、取材したことを整理して分かりやすい新聞記事を書く。

単元構成の意図

教科書では、グループによる取材と紙面作りに重点が置かれているが、本単元は、調べたことなどを新聞記事の形式で表現する基礎的な技能を身に付けることを主なねらいとするため、個々の児童が記事を書く学習を中心にして構成している。新聞の形式や構成に触れることにより、多様な表現方法を取りながら楽しんで取り組むことを目指す。

構成メモを書く段階では、はじめ、中、終わりの枠組みを基本として、段落に気を付けて書かせることに留意する。

記事作りの場面では、5W1Hを意識して書くことや、文章の見直し作業（基本的な推敲の仕方）自分の感じたことや考えたことを分かりやすくまとめて話す力や、自分と友だちの感じ方や考え方の違いを考えながら聞く力を十分「活用」させ、より確かなものとする。

「活用」の力を育てるポイント

自分の伝えたいことを明確にして書くために、相手意識・目的意識をはっきりと持たせるようにする。

書きたいこと（伝えたいこと）の軽重に気づかせ、内容を整理して書かせることに留意する。

語彙集の活用やグループでの例文作りなどを手立てに、様子や気持ちを読み手に伝えるための多様な文章表現に取り組みさせることを大切にしたい。

グループ内で読み手の立場に立って下書きを読み合い、よりよく伝わる表現や分りにくい文章などにも気付かせるようにする。

話し手の考えと自分の意見の共通点や相違点を考えながら聞き、考えをまとめさせる。

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME